

【新執行委員会がスタートしました】

6月26日の定期大会で2013年度役員が承認され、7月から新年度の活動が始まりました。今年度の執行委員会メンバーは次の通りです。

委員長：出口博之
副委員長：井本祐二
書記長：渡邊晃彦
書記次長：富重秀樹
執行委員：田吹昌俊
山本邦雄
武尾政俊
山本克己

執行委員長あいさつ

以前に組合の役員になったのは10年以上前で、国立大学の法人化に組合として反対運動を行っていた時期でした。法人化後、国立大学は大きく変わったというのが実感です。中期目標・中期計画、大学評価および教員評価等に追い立てられ、教職員の労働は多忙・過密化の一途を辿っています。しかし、運営交付金は毎年削減され、昨年度は給与の大幅な減額、退職金の切り下げが断行されて労働条件・待遇は悪化するばかりです。このままではよくないという思いだけでお引き受けしました。どうぞよろしくお願いたします。

【全大教第45回定期大会報告】

全大教第45回定期大会が、7月13日、14日の両日、東京・御茶ノ水で開催されました。本学からは、出口委員長が代議員として、井本副委員長は全大教中央執

行委員として出席しました。大会全体で、特に印象に残った点は、「第3号議案2013年度運動方針」に関する件であり、情勢分析および個別の活動方針等について多くの代議員から修正案等の意見が出されました。その中で、賃金不払い残業の解消に向けた具体的な修正案があり、まだサービス残業が根強く残っていることが垣間見られました。このように、提出された意見から各大学での組合固有の活動事情がうかがえ、興味深いものがありました。しかし、福岡教育大をはじめとする賃金未払い請求訴訟に対しては、全大教および加盟組合が、今後署名活動や傍聴等様々な支援を行うことについては一致しており、今年度の重点課題として取り組むことが決まりました。大会の最後に、3つの大会特別決議案が用意されていましたが、「日本国憲法に定められた権利自由の行使を通じて、憲法改悪に反対しましょう」については、反対1、保留29、賛成が30で採択されませんでした。特別決議の取り扱いを含め、大会の議事運営に課題が残されました。

大会終了後、全大教の役員を長年されていた森田副委員長（九大職組出身）が退職されることになり、送別会を兼ねて懇親会が行われました。森田さん、ご苦勞様でした。

【今後の予定】

8月6日(火)：新執行部学長挨拶

■□■組合員募集中■□■

組合への加入を希望される方は、お近くの執行委員かメールで執行委員会までご連絡ください。